

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院

| 法適用区分    | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分      | 管理者の情報     |
|----------|---------|---------|-----------|------------|
| 地方独立行政法人 | 病院事業    | 一般病院    | 500床以上    | 非設置        |
| 経営形態     | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営       | 33      | 対象      | ド透1未訓ガ    | 救臨が災地輪     |
| 人口（人）    | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置       |
| -        | 68,254  | 非該当     | 非該当       | 7：1        |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 600        | -          | -             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| -          | -          | 600           |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 587        | -          | 587           |

|                |
|----------------|
| ■ 当該病院値（当該値）   |
| — 類似病院平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>（従来の首脳・ネットワークをきむ） | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|--------------------------------|-----------|-----------|
| 平成28 年度                        | 平成23 年度   | - 年度      |

## I 地域において担っている役割

加古川市をはじめ東播磨医療圏において、高度急性期から急性期の機能を担っている。  
救急医療においては、2次救急医療機関として機能しており、特に循環器領域、小児・周産期領域においては、24時間365日の救急受入体制により当該圏域を超え広く受け入れを行っている。  
また、地域の基幹病院として、消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センター、呼吸器センターを設置し、これらの診療センターを中心に多くの診療科と連携しながら高度専門医療の提供を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院として、より充実したがん治療を提供している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

各種経営指標のモニタリングや診療報酬改定への対策を講じるなど、収益の確保と費用の削減に取り組んだ結果、令和4年度に引き続き医療収支比率が100%を超えており、安定した経営状況を維持している。  
収入に関しては、入院患者1人当たりの収益が令和4年度と同程度、外来患者1人当たりの収益については増加しており、安定的に収益を確保できている。費用に関しては、材料費対医療収支比率が類似病院平均値を下回っており、効率的な病院運営が図れている。

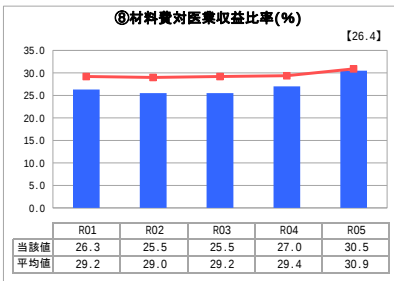
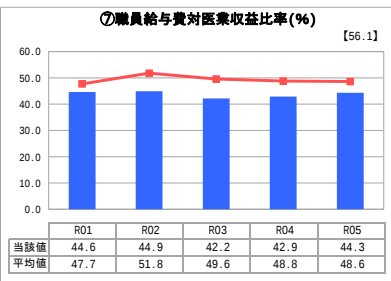
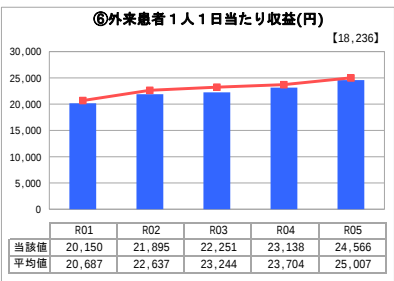
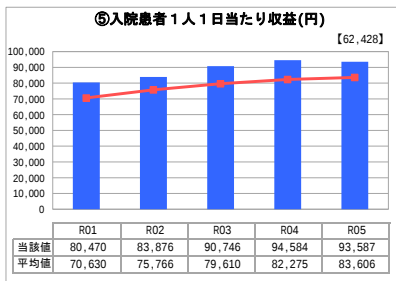
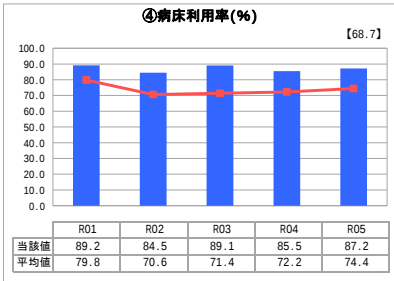
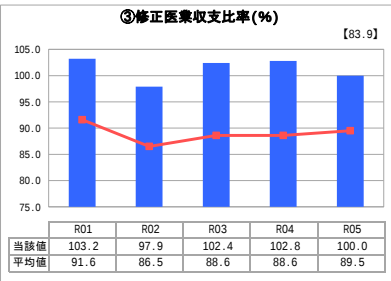
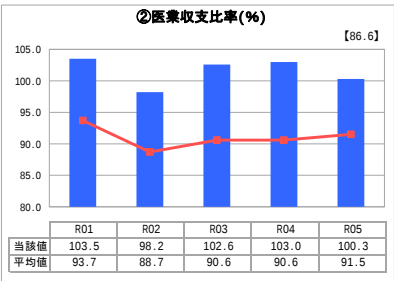
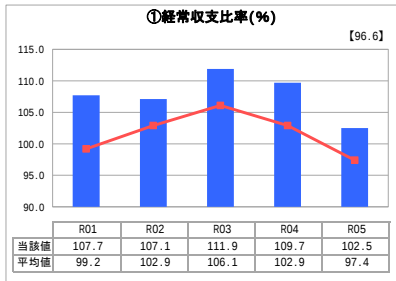
### 2. 老朽化の状況について

平成28年7月に新病院への移転に伴い、建物を新築していることや一定数の器械備品を更新していることから、有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値と比べても低くなっている。  
また、1床当たり固定資産についても、類似病院平均値を大幅に下回っており、効率的な病院運営が図れている。

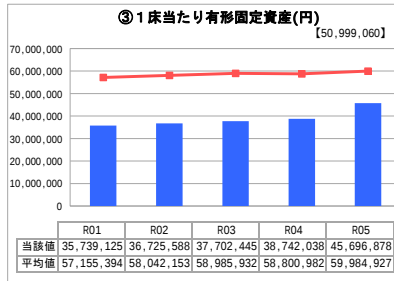
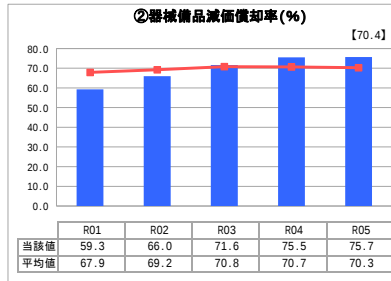
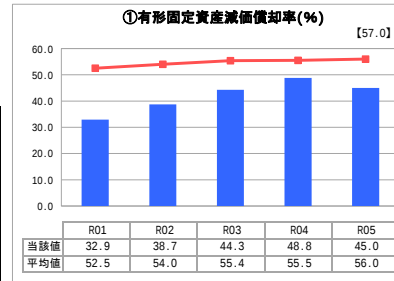
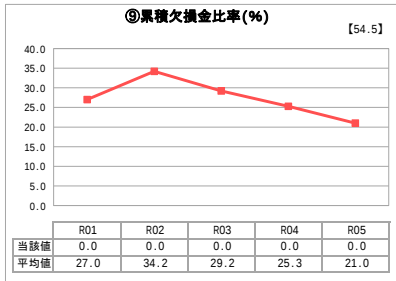
## 全体総括

東播磨医療圏における急性期・高度急性期医療を担う病院として、乳児から高齢者まで市民が安心して医療を受けることができるよう、地域の医療機関と役割分担や連携を図りながら、地域医療を支えている。  
令和5年度の経営については、物価上昇や電気料金の高騰、高度医療の推進による材料費の増加があるものの、医療と経営の両立を図り、収益の確保と費用の削減に取り組んだ結果、効率的な病院運営が図れている。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。